

第4回街道学習講座

なるほど！ 歩いて楽しい大山街道
同行記④(用賀～二子新地)

10月25日(木)、今年4回目となる街道学習講座ですが、今回が一番天気に恵まれました。雲一つない秋晴れの中、総勢20名を超える人数で歩きました。

用賀駅から二子新地駅まで約4キロを講師の中平氏のお話を聞きながら楽しく歩きました。

用賀駅から少し歩くと、大山街道を通行する人々の安全と無縁物の供養のための延命地蔵が現れてきます。ここから、大山街道は、慈眼寺線と行善寺線に別れます。

今回は、行善寺線を歩きました。国分寺崖線にある瀬田城跡の横を通っていくと行善寺に着きます。崖線の上に立っている行善寺からの眺めは最高です。晩秋から初冬にかけて、境内から大山や富士山が良く見られるそうで、中平氏からも「是非またその季節に訪ねてください」と念を押されました。

またこの境内には、猫塚があります。瀬田は、料亭街だったので猫の皮を使用する三味線が多く使われたので、猫の供養として作られました。

行善寺坂を下って、国分寺崖線を降りて六郷用水を渡り多摩川の土手を越えて二子の渡しを確認しました。少し暑いぐらいになってきましたが、私たちは最後まで元気に二子橋を渡り二子新地駅まで歩きました。およそ2時間半の気持ちの良い街道歩きでした。次号以降で、第5回11月8日(木)二子新地～梶が谷、第6回11月22日(木)梶が谷～鷺沼のをご報告します。



▲延命地蔵



▲行善寺

大山街道ふるさと館<利用案内> 電話：044 (813) 4705

FAX：044 (712) 0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)

休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日

※今年度12月は21日になります。

※施設点検日は会議室等の利用ができません。

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。団体登録・個人登録ともに申し込みができます。



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

大山街道

ふるさと館だより

No. 56

2018. 11. 27

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 http://furusatokan.web5.jp/

歴史探求講座「大山信仰シリーズ(第1・2回)」報告

大山の歴史や信仰について深く理解していただきたいと考え、今回の歴史探求講座は「大山信仰」について3回シリーズで企画しました。

講師は大山研究で著名な川島敏郎氏にお願いしました。

9月15日(土) 第1回「大山の歴史と大山道」

・自身が大山研究を始めるきっかけについて語られ、大山研究にどっぷりとかかっていく過程についても語られました。また、研究成果が神奈川県立図書館の「神奈川県郷土資料アーカイブ」で公開されていることも紹介されました。

・大山の歴史と信仰について、原始・古代から～近代まで略年表をもとに

話され、特に「大山の歴史」上重要な良弁、願行房憲静、実雄、心蔵、権田直助の5人にスポットを当て語られました。

◇良弁＝奈良時代(755)東大寺初代別当、相模国出身。大山寺の開創。大山寺縁起。

◇願行房憲静＝鎌倉時代(1264～1275)大山寺の復興。異国(蒙古)降伏を祈願し鉄造不動明王を造立。

◇実雄＝江戸時代(1605)徳川家康、大山寺を肅正。修験僧を大山寺から追放。天台宗から真言宗に変更。実雄、初代学頭(別当)。

◇心蔵＝江戸時代『大山不動靈験記』15巻131話を刊行。1792年「書肆 御書房 出雲寺和泉 西村源六」より出版。

◇権田直助＝明治時代(1873)阿夫利神社祠官に就任。明治維新後の廃仏毀釈を利用して阿夫利神社下社を建立。

・この5人の業績を通して「大山の歴史」を見ることは、今までにない新しい視点から大山信仰を見ることが出来ました。また、大山道について略図を示しながら解説され、改めて大山道の概略がつかめました。

10月13日(土) 第2回「『大山不動靈験記』からみた大山信仰の諸相」

『大山不動靈験記』は、前回紹介された心蔵が生涯をかけて執筆、出版された書物です。15巻131話で構成され、大山不動の靈験、ご利益の全貌が詳細に紹介されています。

講演では、『大山不動靈験記』の内容分析を行いました。靈験談の事例地は大山の信仰圏(神奈川県内、旧武蔵国、江戸市中、下野国、上野国、駿河国等)とほぼ一致しています。年代分布では江戸時代以前は3話のみ、圧倒的に江戸後期明和・安永年間(1764～81年)に集中しています。登場人物は、百姓が圧倒的多数をしめ、次いで都市生活民(町人、商人、職人)であり、漁民や武士は少ないそうです。大山不動尊の現生利益は、病氣平癒の祈願、災難除け、被盜品の回復、知恵獲得等であり、落語の「大山」や古川柳等に取り上げられている借金逃れの話は皆無です。現世利益の達成に求められるものとして、常日頃からの大山崇拝、水(千・塩)垢離、大山参詣等をあげています。まとめに『大山不動靈験記』に記載された現世利益の具体例(4例)を取り上げ紹介されました。



第2回 ふるさとまち歩き講座 ～久末を歩く～

10月12日(金)、雨が心配されましたが、無事に第2回のまち歩き講座を行うことが出来ました。

講師の佐藤忠氏の丁寧な説明を受けながら、午後の半日楽しく久末を歩きました。

久末の義民を中心のテーマに、妙法寺・久末天照大神・イノ木・蓮花寺等をまわりました。



▲妙法寺

妙法寺には「義民地蔵」があり、江戸時代に領主の悪政に苦しめられていた農民が、年貢の引き下げ求め、江戸の領主邸に門訴に及ぶも、19名の農民が捕らえられ殺されてしまい、その後年貢は引き下げられましたが、命と引き換えに村人を救った人々の供養に村人たちが建てたものです。

久末緑地やたちばなの森に代表される自然や起伏そして久末小学校の子どもたちとのほのぼのとした交流等、心身の健康にもとても良い講座となりました。

次回「第3回ふるさとまち歩き講座」は、来年の1月25日(金)13時から「末長」を歩きます。募集は、12月25日(火)午前9時30分から行います。

30年度第2回 ふるさと発見講座 参加者募集 平成30年12月4日(火)開催

平成30年度 第2回「ふるさと発見講座」

川崎の発展に尽くした人物 久地円筒分水の設計者 ～水恩の人～ 平賀栄治

大雨が降ると雨水は二ヶ領用水に流れ込み、平瀬川と三沢川の洪水を引き起こしました。この改修工事に取り組んだ平賀栄治は、常に現場で生きる農業土木技術者として各地を飛び回りました。

明治25年に山梨県で生まれ、48歳の時に世界に誇る「二ヶ領用水円筒分水(国の登録有形文化財)」の設計を手掛け、晩年を多摩川に捧げたといわれる平賀栄治について、飯野君男氏に語っていただきます。

日時：平成30年12月4日(火)

午後1時30分～午後3時30分

講師：飯野 君男 氏(郷土史研究家)

会場：川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール

定員：60人(定員になり次第締め切ります)

※11月4日から、電話・FAX・窓口で受け付けています。

参加費：500円(資料代含む)



▲円筒分水

<まちのマイスター体験講座>のご案内

ご好評いただいている、<まちのマイスター体験講座>第2回は、大山街道にある<増屋商店>による日本酒についてのお話です。お酒の試飲も予定していますので、ご参加は成人限定です。

31年2月6日(水)午後の開催予定で、31年1月6日(日)に募集開始予定です。

第3回は、3月2日(土)午前の開催予定で、高津駅近くのコーヒー専門店<珈琲丸>によるコーヒーについてのお話です。2月2日(土)に募集開始予定です。

<子ども大山街道探検クラブ>活動報告

《子ども大山街道探検クラブ》

9月の探検クラブは、二ヶ領用水と周りの清掃活動でした。

「二ヶ領用水ウォッチングフォーラム」の方に、清掃時に使う長いマジックハンドの使い方やごみの取り方について説明していただきました。

前夜に雨がたくさん降りましたので水量が多く流れも速かったのですが、一生懸命ごみ拾いに取り組み、大石橋から法泉坊橋までの往復、約30分間の活動でビニール袋がいっぱいになるほどでした。

子どもたちからは、

「昨日の大雨でごみが少なく感じたけど、二ヶ領用水を少しでもきれいにできてよかったです。」

「去年は吸い殻が多かったけど今年は少し少なくなったように感じました。」

「僕が1つごみを取ると、この町が1つきれいになる感じがしました。」

などの感想が聞かれました。

「二ヶ領用水ウォッチングフォーラム」のみな様のお力添えで川や町をきれいにし、さわやかな気分を味わうことができました。



ミニ企画展 切り絵シリーズ⑨ ～御仏たち～

10月1日(月)から11月30日(金)まで、当館で恒例となりました青木幸夫氏の切り絵を展示いたしました。

この切り絵は、和紙や洋紙を紙の色合いや染めむらを生かして貼り重ねたものです。手で触ってもよく、その感触を味わうことができます。たくさんの方に参観に訪れていただきました。

次回は、「草花に魅せられて」をテーマに、来年3月に展示を行う予定です。

氏が散歩道で出会った花たちを切り絵にした作品をご覧ください、手で触れていただき、鑑賞していただけたらと思っています。乞うご期待です。



ぶらり散歩

「二子の散策後 『老舗料亭やよい』でお茶を飲みませんか」

11月2日(金)に、多くの参加者と天気にも恵まれ二子新地周辺の史跡を散策した後、「老舗料亭やよい」で抹茶を楽しみました。

「やよい」では女将さんに料亭の中を案内していただき、昔のまちの賑いの様子についてもお話しいただいて、参加者一同、興味深く聞くことができました。美味しい抹茶と昔の大山街道の様子を紹介するビデオの鑑賞もあり、有意義な2時間を過ごすことができました。

